

別府大学紀要



第 18 号

目 次

近代日本女性史の方法 試論 —最近の方法論論争によって—	古 庄 ゆき子	(1)
コンスタンティナ廟堂の北側小アプシスのモザイク —「トラディティオ・レギス (法の授与) 図」をめぐって—	名 取 四 郎	(10)
井上 靖における万葉集受容	工 藤 茂	(40)
文学と美	後 藤 一 美	(52)
印象主義の功罪 —印象主義のフォーヴィズム・キュビズムへの移行—	中 込 純 次	(59)
ヘーゲルにおける精神 (1) —ヘーゲル精神哲学の現代的意義をめぐって—	佐 藤 瑠 威	(68)
<hr/>		
大分県における女教師の形成過程	坂 本 智恵子	(1)
縄文晩期農耕論についての覚え書	賀 川 光 夫	(15)
野菜類の色素について —野菜中のカロチンとクロロフィル—	富 田健二郎他	(29)
万葉集 七夕の歌一首 短歌を併せたり (独唱曲)	辛 島 武 雄	(37)

1977年2月

別 府 大 学